

委 39-5-1

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 10 月 25 日～平成 18 年 10 月 31 日)

平成 18 年 11 月 1 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発委員会の動き

10 月 26 日(木)

- 第 6 回計画部会
【井口委員長、松尾委員、青江委員、野本委員、森尾委員】
- 第 9 回推進部会
【井口委員長、松尾委員、青江委員、森尾委員】

10 月 30 日(月)

- 第 1 回計画部会輸送系ワーキンググループ
【井口委員長、松尾委員、青江委員、森尾委員】

宇宙開発に関する国内の動向

10 月 31 日(火)

- 「ひので」搭載望遠鏡の蓋開け完了と試験観測の開始
【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】
平成 18 年 9 月 23 日午前 6 時 36 分(日本標準時)に M-ロケット 7 号機により打ち上げた第 22 号科学衛星「ひので」(SOLAR-B)は 10 月 28 日までに搭載している 3 台の

望遠鏡すべての蓋を開き、性能確認を目的とした太陽観測を開始した。

搭載している 3 つの望遠鏡は、いずれも正常に機能しており、このうち X 線望遠鏡(XRT)では、「ようこう」の軟 X 線望遠鏡を 3 倍上回る解像度を実現している。

10 月 31 日(火)

- M- ロケット 7 号機により打ち上げられた副衛星の実験結果
【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】
M- ロケット 7 号機の余剰スペースを利用したソーラー電力セイル実証小型衛星(SSSAT)実験については、衛星の打上げに成功したものの、何らかの理由により電波が断続的にしか受信できなかったため、薄膜太陽電池の特性計測結果を確認することができなかった。なお、原因は究明中。
なお、北海道工業大学が実施している小型衛星バス部機能実証超小型衛星(HIT-SAT)による実験は順調に継続している。

宇宙開発に関する海外の動向

10 月 26 日(水)

- ISRO、有人宇宙プログラムを含む宇宙計画を報告 【印】
10 月 17 日、宇宙省(DOS)傘下のインド宇宙研究機関(ISRO)総裁のナイル氏はシン首相に対し、同国の宇宙プログラムについて報告した。
報告によると、2013 年までのミッションの概要、将来の計画を含めた宇宙省(DOS)のプログラムのレビューが行われ、

また DOS の有人宇宙プログラム実施の可能性についての協議が行われた。

報道によると、ISRO は将来の有人ミッションに必要な再突入技術の実証を目的とした回収型衛星「SRE」を本年 12 月から 1 月の間に打ち上げることとしている。

- デルタ 2 ロケット、太陽観測衛星の打ち上げに成功 【米】
10 月 26 日 0 時 52 分、NASA は、ケープカナベラル空軍ステーションからデルタ 2 ロケットを打ち上げ、太陽観測衛星「ステレオ A (STEREO A)」及び「ステレオ B (STEREO B)」の所定の軌道投入に成功した。打ち上げ時の重量は約 1.2 t。

10 月 27 日 (木)

- プログレス、ISS とのドッキングに成功 【露】
10 月 23 日 (月) 13 時 41 分、バイコヌール宇宙基地からソユーズロケットにより打ち上げられた、国際宇宙ステーション (ISS) の補給物資を搭載したプログレス補給船は、10 月 26 日 14 時 29 分、ISS との自動ドッキングに成功した。同補給船には、約 2.5 t の燃料、酸素等の物資が搭載されていた。

10 月 30 日 (月)

- 長征 3B、通信衛星の打ち上げに成功 【中】
10 月 28 日 16 時 20 分、中国は、西昌衛星発射センターから長征 3B ロケットを打ち上げ、次世代型大型通信衛星「シ

ノサット 2 (Sinosat-2)」の所定の軌道投入に成功した。打ち上げ時の重量は約 5.1 t。